

平成29年度苫小牧市文化交流センター運営協議会定例会
会 議 結 果

日時 平成30年3月23日(金)

14:00~14:40

場所 文化交流センター3階 学習室3

出席委員 今田会長、山内副会長、脇田委員、深瀬委員、佐久間委員
高橋委員、松原委員、岡田委員、橋場委員、石川委員 計10名

事務局 教育部 瀬能部長
生涯学習課 鍛冶課長、田中主査、工藤主査

指定管理者 文化交流センター 三塚館長、佐々木事務員

-
- 1 開 会 (進行) 田中主査
 - 2 教育部長挨拶 瀬能部長
 - 3 委員紹介 松原委員(新規委員)
 - 4 事務局担当職員・指定管理者自己紹介 鍛冶課長、工藤主査
三塚館長、佐々木事務員
 - 5 議 事 (議事進行) 今田会長
 - (1) 平成29年度 文化交流センター事業報告及び利用状況報告
～資料に基づき三塚館長から報告
 - (2) 平成30年度 文化交流センター事業計画
～資料に基づき三塚館長から説明
 - (3) その他
 - 6 閉 会 (進行) 田中主査
-

【 議 事 】

議長：初めに(1)平成29年度文化交流センター事業報告及び利用状況報告について、館長からご説明をお願いします。

館長：平成29年度文化交流センター事業報告及び利用状況を資料に基づき説明

(内容概略) 文化交流センターですが、生涯学習活動や社会教育を推進し、文化の振興と市民の交流を促進する拠点として経営しております。

1 ページの学習活動の推進について、とまこまい市民カレッジについてですが、講座数はほぼ例年並みとなっておりますが、内容は大幅に刷新しております。継続しておりますのは9番のプチ中国語講座、5番の苫小牧駒澤大学との連携の市民講座、11の楽しいフォークダンスの3つが継続ではありますが、駒澤大学の市民講座は内容を刷新しております。1番のあなただけのオリジナルステンドグラスからは平成29年度から新たに開拓、開発した講座でございます。市民の皆様の健康、文学、芸術、情操といった趣味の分野、12番の社会参加を促す企画も取り入れて実施しております。

2 ページ。未来を担う子供たちのための体験教室。これも例年どおりの内容で実施しております。これらは人気の講座となっておりますので、内容としては継続となっております。

臨時講座につきましても継続して実施しております。

3 ページ、自主事業の講座でございますが、人気の高い健康麻雀入門教室などほぼ例年どおりの実施となっております。独自事業でございますが、3月4日に新たに行いました、若者から中高年まで幅広い年齢層が同時に交流できる企画としてアイビーフェスタという企画を初めて実施しております。14～15ページにその時のチラシと募集ポスターを添付させていただいております。ひなまつり展は例年2月24日から3月3日まででしたが一日延長して4日までにし、伝統的な文化行事と若者の文化として、パフォーマンス書道と吹奏楽のコラボと午後からコスプレフェスタ交流会にとまチョップにも参加をいただきました。遠くは函館方面からの参加もいただき約700人を越す入場者、参加者となっております。

4 ページ、高齢者学習の推進でございます。今年度も長生大学を開校しております。中央、東、北、沼ノ端、錦岡の5大学に分けております。8月から11月の欄にあります小学生との交流や郊外研修で札幌方面へ博物館等の見学も実施しております。そのほか、各種クラブ活動、10月には合同大学際でそれぞれの大学ごとに独自に企画し実施しております。そして昨日、卒業式、終業式を迎えたところであります。また、高齢者主張発表会を実施いたしました。資料の18ページをご覧ください。前年度は6人の発表でしたが、今年度は9人で多岐にわたる発表でした。特に今年度は女性の発表もあり充実した発表会でありました。

5 ページ、芸術文化事業の推進として、いま説明しました市民カレッジ、独自、自主事業等の実施をしております。市民自主学習の推進では、視聴覚教材機器の貸出、サークル連盟との連携でアイビーサークルまつりを4日間実施しております。そのほか、条例規則に基づくモニタリング報告、利用者アンケートを実施しております。アンケートにつきましては、25ページ、アンケートの配布と回収を工夫しまして、前年を上回る344枚の回収と回収率67.3%となりました。総合的な満足度としましては無回答を除く全回答における上位2項目の回答率の平均で95.5%の満足をいただいております。ただ年齢構成で高齢化が見て取れます。今後いかに若返りを図っていくかが今後の課題となります。

6 ページ、利用状況をまとめております。各部屋の貸室稼働率と前年度との比較となっております。前年度並みの利用ではありますが前年度と比較して1.5ポイント、若干の下降気味となっております。今後、利用者層の若返りを図りつつ稼働率全体の向上を図ってまいりたいと考えております。そのほか部屋ごとの細かい利用内訳、講座受講状況を次ページ以降に記載しております。

10 ページ以降はそれぞれの講座などのポスター、チラシ等を掲載しております。16ページには4日のアイビーフェスタの成果として、高校生が書き上げた大きな書道があります。横6メートル幅3メートルの書が2枚ございましたが、せつかくでするのでその後広場の2階手すりから掲示して入館者に見ていただきました。

17 ページ、長生大学の年間の各講座、大学ごとの実施日となっております。

21 ページからは、アイビーサークルまつりの日ごとのプログラムとなっております。

34 ページ、代表的な講座などの写真を載せております。

平成29年度の事業と利用状況を報告させていただきました。

議長：平成29年度事業報告及び利用状況報告がありました。これについてご指摘、ご意見等ありましたらお受けしたいと思います。いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

議長：それでは、次に(2)平成30年度の事業計画について、館長、説明願います。

館長：35ページになります。運営方針につきましては、引き続き生涯学習活動や社会教育の推進、文化振興と市民交流の推進拠点施設として、これまで以上に市民みなさまの学習及び文化活動の場の提供に努めるとともに地域的課題や市民のみなさまの要望を捉え講座等の充実をさせてまいりたいと考えております。学習活動の推進につきましては、29年度と同様とまこまい市民カレッジ前期後期、子ども体験教室、臨時講座を執り行ってまいりたいと考えております。自主事業ですが、これも例年同様執り行ってまいりますが、一昨年実施しました、おもちゃライブラリーチャリティダンスパーティーを新たに主催者と連携を取りながら自主事業として取り組んでまいりたいと考えております。

36ページ、独自事業につきまして、今回開催しましたアイビーフェスタにつきましては、時期は未定ですが、初の開催で手ごたえを掴みましたので継続して実施してまいりたいと考えております。高齢者学習の推進でございますが、今年度と同様長生大学の開校と高齢者主張発表会を実施してまいりたいと考えております。文化芸術事業の推進、市民自主学習活動の推進につきましても、今年度と同様に引き続き進めてまいりたいと考えております。モニタリング、利用者アンケート調査の実施につきましても大きな満足をいただけるよう職員一同奮闘してまいりたいと思っております。

38ページは長生大学の講座内容及び実施時期となっております。7割程度の講座内容が刷新されております。

以上が、平成30年度の実施計画となっております。

議長：それでは、委員の皆さまからなにかございますか。

議長：私から1つお聞きしたいのですが、利用者アンケートで利用者の声が自由記載されておりますが、利用者意見をいろいろ吸収していただいていると思いますが、この中で、要望が散見されますが、館長のほうから、要望に対してどのような対応をされたかあればお聞かせいただけますか。

館長：バスにつきましては、現在、沼ノ端地区からアイビーへ直接こられる路線が無いのですが、高校からバス会社に要望を出して朝と夕方、登校と下校時に沼ノ端経路を新たに増やしていくという報道がありました。個々ではなく大きな組織で声を上げることで、路線経路の確保に繋がるかなと考えております。

駐車場につきまして、増やすことはできない状況ではありますが、教育福祉センターと連携を取り、夜間と土日については使わせていただくことが可能となりました。また、平日でも講座等で混雑が予想される場合はその都度に問合せさせていただき、教育福祉センターの行事と重ならない場合はご協力いただけるようになりました。また、長生大学の入学式や卒業式の場合は、並びのお寺さんの駐車場をお借りしております。ご協力いただいております。

また、和室の畳の表換えをいたしましたので、気持ちよく使っていただけると考えております。トイレのペーパーホルダーも古いもので利用しにくいとの声がありましたので、これをすべて交換させていただきました。

委員：西側駐車場に公用車用の駐車スペースが1台分あるが、常時使用していないようであれば、開放してもいいのではないか。2階の給湯器が故障していますが、これは修理されるのでしょうか。

館長：直営のときに公用車1台専用に配置されていた時の名残となっていて、こちらで行事があり市長等が来たときに使わせていただいております。常時利用ではないので、館と調整させていただきます。

館長：2階の給湯器は壊れたままとなっております。メーカーが札幌で、修繕用の部品も無いとことで経費が多くかかることから修理できない状況となっております。新年度には利用できるよう準備してまいります。

委員：館の隣の医院の駐車場は使えないのでしょうか。

館長：医院の駐車場は、管理者は薬局になると思われます。年に1～2度混雑することが予想される場合、土日に限ってですが、まず、当番医になっていないかどうか確認しお借りすることはありますが、普段は、患者さんや医院や薬局の職員の駐車場となっているようです。

議長：難しいでしょうね。

議長：そのほか、何かありますでしょうか。それでは、29年度、30年度の事業についてはご承認されたことよろしいでしょうか。では、そのようにいたします。

議長：(3)その他いかがでしょうか。それではこれで終りたいと思います。ご審議いただきありがとうございました。

主査：今田会長、委員の皆さま、ご協力ありがとうございました。以上をもちまして、平成29年度苫小牧市文化交流センター運営協議会定例会を終了させていただきます。本日はありがとうございました。